

日本における CCS コミュニケーション・ フレームワークの構築

2011 年 8 月



Developing a CCS Communications Framework for Japan

August 2011

JGC Corporation



本レポートは日本メンバーの便宜のため英語から日本語に翻訳したものです。グローバル CCS インスティテュートは、本レポートの日本語版に翻訳された内容の正確性、信頼性、または完全性を保証するものではありません。

Executive summary

知識の共有は、CCS コミュニティにとって必要不可欠であり、グローバル CCS インスティテュートが中心的役割を演じている分野である。インスティテュートはデジタルチャンネルと対面チャンネルの両方を通じてコミュニティ中心の知識共有プログラムを実践中ではあり、特に知識共有の国際化を強化できる場合には、構造化した効果的な知識共有ネットワークを支援するため、追加的な知識管理手法とツールの使用法についても検討していきたいと考えている。

「日本における CCS コミュニケーション・フレームワークの構築」というこのプロジェクトは、国際的な環境でより幅広くこの手法を利用する事を前提に、パイロット規模で知識管理システム (KMS) のプロトタイプを検証すること目標としている。ネットワークメンバー間のコミュニケーションと連携を通じてコミュニティが追求する主なテーマは以下のとおりである。

- 特定された問題に関して、様々な学問領域／研究分野に分布している専門知識を、インスティテュートおよびそのメンバーが協力して、どのように有機的な知識体系に統合するか
- グローバル CCS インスティテュートがどのように詳細な専門知識の本質を洗い出し、それを様々なレベルの科学・技術水準を有する利害関係者が理解できる簡潔な形で示すか

コミュニティメンバーとの共同作業から得られた主なアウトプットは以下のとおりである

- 利害関係団体の重要な人員から成るコミュニティ、知識の共有を促進する手順、および必要なコミュニケーションツール、すなわちインスティテュートのデジタルプラットフォームを確立すること
- CCS の理解を促進するための (おそらく日本固有の) 要件の特定
- 過去のコミュニケーションの努力と、その有効性の評価に関する知識ベースをまとめる
- CCS への理解を向上させ、国内での対話への利害関係者の参加を促すためのアクションプランの作成
- 日本において CCS をサポートする「アーギュメンテーション(討論)モデル」の開発

これまでのコミュニティでの議論と、討論モデルに関する知識ベースをまとめたものは、ハイパーリンク付きのネスト化された HTML ドキュメントのセットとして保存されており、日本のネットワークメンバーがレビューできるようにインスティテュートのデジタルプラットフォームにアップロード済みである。全てのコンテンツは、外部リンクを除き、英語に翻訳済みであり、インスティテュートに提出済みである。

実践の最後に、インスティテュートのメンバーが将来参照できるよう、知識共有活動からの教訓が要約されている。重要な結論として、知識共有ネットワークのコーディネートを成功させるためには以下が必要である。

- 便益が明確に認識されること
- 利害の衝突を避けること
- コンセンサスに基づくメンバーのコミットメント
- 異なる視点の受け入れ

Table of Contents

1	Acknowledgements and Citations	4
2	Objectives of the project.....	5
3	Task 1: Project planning	5
3.1	Group discussion.....	5
3.2	A discussion on prerequisites for knowledge sharing between several organizations	7
3.3	Plan for the Japanese CCS Communications Framework.....	7
3.3.1	SSM for definition of actions based on consensus	8
3.3.2	Tentative plan for the Japanese knowledge sharing network.....	8
3.3.3	Stage 1: Development of an action plan.....	8
3.3.4	Stage 2: Implementation of actions based on the plan.....	9
4	Task 2: Community-based knowledge sharing exercise.....	9
4.1	Theme for collaboration and approach identified in Task 1	10
4.2	Summary of Stage 1.....	11
4.2.1	Step 1-1.....	11
4.2.2	Step 1-2.....	18
4.2.3	Step 1-3.....	29
4.2.4	Step 1-4.....	43
4.3	Outputs from Stage 2	47
4.3.1	Portal to support activities for expediting non-experts' understanding of CCS.....	47
4.3.2	Argumentation model justifying CCS as an effective measure to mitigate global warming and its effects on Japan.....	49
4.3.3	Information concerning the relationship between CCS and seismicity.....	51
4.3.4	Use of the resources by network participants.....	52
4.3.5	Recommendations for next steps	53
5	Lessons learnt from the Japanese knowledge sharing test bed and suggestions to the Institute.....	55
5.1	Recognition of clear benefits	55
5.2	Avoidance of conflicts of interest.....	56
5.3	Commitment of members based on consensus.....	56
5.4	Accommodation of different views.....	56



GLOBALCCSINSTITUTE.COM

The Global CCS Institute has tried to make information in this product as accurate as possible. However, it does not guarantee that the information is totally accurate or complete. Therefore, the information in this product should not be relied upon solely when making commercial decisions. The Global CCS Institute has no responsibility for the persistence or accuracy of URLs for external or third-party internet websites referred to in this publication and does not guarantee that any content on such websites is, or will remain, accurate or appropriate.